

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第40号 R3. 2. 15

豊能町小中一貫教育推進研究会 全体授業実践発表会 その②

前号でもお知らせいたしましたが、令和3年1月27日に各小中学校で「小中乗り入れ授業」のDVD視聴会が行われました。小中学校の先生と一緒に授業をすることで、それぞれのよさや違いを知る機会になりました。義務教育学校の開校に向け、先生方が互いに学び合うことのできる場を設定し、“発達段階に応じた指導方法の工夫・改善について共有し”授業力向上に努めていきたいと思っております。

◆授業を視聴された先生方の感想より～一部抜粋～◆

【算数】

- 単に円周率を3.14と覚えさせるのではなく、なぜそうなったのかという印象が残る授業でした。
- 中学校の先生が来られて教わるというだけで子どもは気が引き締まるし、ワクワクしました。理科・英語もこのようにできればと思いました。
- 中学校では円周率をもはや数字で表すこともありませんが、その π を教師が与えるのではなく、子どもたちが学習の中で体験的に獲得しているのだということを中学校の先生方にも知って頂けてよかったと思いました。
- 学習活動の中で、ポイントを押さえた教師の声掛けが明確で、本時の目標に迫れたのではないかと思います。
- 小学校の一人ひとりの児童へのきめ細やかな指導と、中学校の専門性を活かした工夫した授業内容への指導とがうまくミックスされていた。
- 数学では抽象的になる内容も、具体物を扱うことで理解や興味が深まることを改めて感じました。どうしても生まれるこの段差を意識するだけで、小中それぞれで授業が変わってくると思いました。

【体育】

- 小学校のていねいさ、中学校の良い厳しさの両方を見ることができました。
- 様々なボールを使うことで、それぞれの特徴に気付き、投げ方も工夫することができる。
- アップの段階で、足の動きや腰のひねりにつながるステップ系の運動があり、投げるときの動きにつながってよいと思いました。
- 小中でやっていることや思いが共有できれば、それぞれに良い授業ができると思うので、今後も勉強させてもらいたいと思います。
- 動作に入る前の指示がとても明確でわかりやすく、かつ“早くやってみたい”と思わせるものでした。
- 授業づくりは教員の学びになるので、小中で一緒にできれば、より子どもの姿や育ちに沿った授業ができると思います。
- 児童が最初から最後まで授業に向き合い、楽しみ、個々の課題に向かって自身の方法で取り組む姿に、日常からの学級集団作りの成果を感じました。

「第2回東能勢中学校区学校運営協議会設立準備委員会」開催

2月5日（金）18時30分から、延期していた「第2回東能勢中学校区学校運営協議会設立準備委員会」を開催しました。今回は、顧問の小松郁夫先生を講師に研修会を行いました。

小松先生には、「小中一貫教育で育む新しい学習の姿～地域・保護者・子ども・教職員それぞれの視点から考える～」と題し、これからの「新しい」学校についてご講演いただきました。

ご講演では、「学習指導要領の変遷と学力観」「新時代に対応した義務教育の在り方」「これからの『学校』と教育・学習の未来」「地域とともにつくる新しい幼児・義務教育」等について、小松先生がこれまで関わられた先進校での取組みを交えながらお話いただきました。

本町では保幼小中一貫教育を推進していますが、「全国的にあまり実践されていない『保幼小の接続』が次の課題になります。新学習指導要領にも明記されており、保幼と低学年の先生で学びの中身をしっかりと議論することが大事だと思います。」と小松先生はおっしゃられていました。まずは、保幼と小中学校の教職員が各校種での取組みや子どもたちの成長を共有し、幼児期から児童期への発達の流れを理解することから保幼小中の連携を進めていきたいと思っております。



ご参加いただいた委員の方の感想を紹介します。（一部抜粋）

- 言語と遊びが全ての学びの基礎という事が頭から離れませんでした。親の話しかけや周囲の人からの言葉の教で2～3歳で言語が発達する。幼児期の子育ての重要性を感じました。
- 現場の教員や保護者、地域の方々がこれから生きていく子どもたちに何が必要なのか、そして、この地域で何ができるのかを考えていく基になるものだと考えさせられました。今現在から抜け出すのはとても難しいと思いますが、少しずつ意識の変革をしていかなければと思います。
- 集団が0～15歳まで変わらないのは同一年齢で考えるからで、年齢の枠を広げて、他者から学ぶ、他者を受け入れる、他者を労わる等、学校が、同一年齢集団ではなじめない子どもや支援の必要な子どもたちにとって居場所になってほしいと感じました。
- 教育委員会や学校の先生ともよく連携して、今後の教育に役立つ教育方針や豊能町にもっと引越してきてくれるような教育の一押し！をつくっていききたいですね。

社会が急速に変化していく中、これからの未来を担う豊能町の子どもたちにとってどのような学びのできる学校をつくっていくことがよいのかを考え、たくさんの方で知恵を出し合い、「豊能町らしい学校」を考えていきたいと思っております。



当初は、集合形式での開催を予定していましたが、国の緊急事態宣言発令を受け、会場での参加者を減らしWebで開催しました。講演中は、何度も接続が切れご不便をおかけしてしまいました。今後、改善していきたいと思っております。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。